

# 「次代を担う人材育成に向けて求められる教育改革」

2014年4月15日

一般社団法人 日本経済団体連合会

## イノベーションを起こし、グローバルに活躍する人材を育成するための施策・事業のあり方

- 改革の進め方
- ① 中央教育審議会における専門家の検討に基づく制度改革とともに、戦略特区等を利用して実験的・モデル的に事業を実施
  - ② 教育関連の事業実施においては、具体的な成果目標を設定し、成果を検証し、PDCAサイクルを実践

### 高等教育

評価・業績に基づき、運営費交付金や私学助成金を競争的に配分

#### 学長のリーダーシップによる大学改革の推進

- 組織再編、予算の編成・配分、入試制度・学事暦の改革、教育カリキュラムの見直し、国際化等を戦略的に推進
- 学長を補佐する体制の強化（総括副学長の設置、専門スタッフの安定的採用・育成）と、教職員・大学経営組織との意思疎通の改善（大学ビジョンの共有）
- 学長の選考方法の見直し

#### 出口管理（成績管理、卒業要件の厳格化）による質保証

#### 国際化の更なる推進

- ✓ 海外大学との教育連携の推進
- ✓ 双方向の留学生交流の推進
- ✓ 学事暦の見直し（公務員採用試験、国家資格試験の時期の見直しも含む）

#### カリキュラム改革と産学連携

- ✓ 課題探求力やコミュニケーション能力を伸ばすPBL型授業 [注1]の実施
- ✓ 産学連携による教育カリキュラムの開発（社会人学び直しも含む）
- ✓ 学修ポートフォリオの活用促進

#### 入試改革

（達成度テスト・発展レベルを活用しつつ、知識偏重から、各大学の創意工夫により、生徒の意欲・適性や高校時代の学習成果、多様な体験活動等を総合的に評価する入試へ）

情報開示の徹底

（「大学ポートレート」の開示内容を、大学の強み・特徴が比較可能になるように拡充）

客観的指標に基づく外部評価

（教育・研究・産学連携・国際等の機能別評価）

### 高大接続の改善

#### 初等中等教育

高校教育の質保証、高大連携教育（APP [注2]）、大学入試改革などの一連の取組みを通じて、教育の継続性を確保

#### 理数系教育、ICT教育の推進

- ✓ スーパーサイエンス・ハイスクールの支援拡充
- ✓ 小学校における理科指導体制の強化（専任教員の養成・配置、企業人等、教員免許を持たない有能な外部人材の活用）
- ✓ ICT教材を活用した双方向型・協働型授業の推進

#### グローバル化教育と日本人としてのアイデンティティの育成、道徳教育の充実

- ✓ 国際バカロレア（IB）認定校の拡大とIB教員の養成
- ✓ 海外子女への支援と帰国子女の受け入れ円滑化、高校生の海外留学推進（短期）
- ✓ 日本人としてのアイデンティティの育成と道徳教育の充実

#### 高校教育の再構築と質保証

- ✓ 達成度テスト（基礎レベル）による基礎的教科・科目の学習達成度の把握
- 企業人の学校教育への参加
  - ✓ 学習内容をキャリアに結び付けられない日本の子供たち（PISA結果）→土曜授業を利用した企業人によるキャリア教育・理科実験等の推進

#### 英語教育の抜本的改革

- 習得すべき英語能力を明確化した上で、小中高で一貫性のある体系的な教育カリキュラムを構築
- 高度な英語力・指導力を有する教員の養成・確保【① 高度な英語指導力を有する外国語指導助手（ALT、[注3]）の確保、② ALT単独で授業実施を可能とすること、③ 外部人材や民間業者の活用に関するガイドラインの策定、④ 教員養成大学において高度な英語力・指導力を有する教員の養成】

#### 基本的・基礎的学力の確実な養成

\* [注1] PBL (Project Based Learning) : 課題解決型学習。学生が少人数のグループに分かれてプロジェクトに取り組み、主体的に調査・検討し、解決策を提示するもの。

\* [注2] APP (Advanced Placement Program) : 高校生を対象に大学レベルの授業を履修させるプログラム。米国では全国共通テストの成績に応じ、進学先の大学で単位認定される。

\* [注3] ALT (Assistant Language Teacher) : 政府・地方公共団体が実施しているJET (語学指導等を行う外国青年招致事業) プログラムの職種の一つで、小中学校・高校で語学指導に従事する外国語指導助手。JET参加者の9割がALT。